

2026年1Q（1～3月） 熊本県宿泊旅行統計調査（ 00.熊本県全体 ）（速報値）

1. 動向

2026年1-3月の延べ宿泊者数（全体）は「1,895,510人」、前年同期比で「▲1.3 %」でした。
日本人延べ宿泊者数は「1,483,190人」、前年同期比で「▲1.2 %」でした。
外国人延べ宿泊者数は「412,320人」、前年同期比で「▲1.9 %」でした。

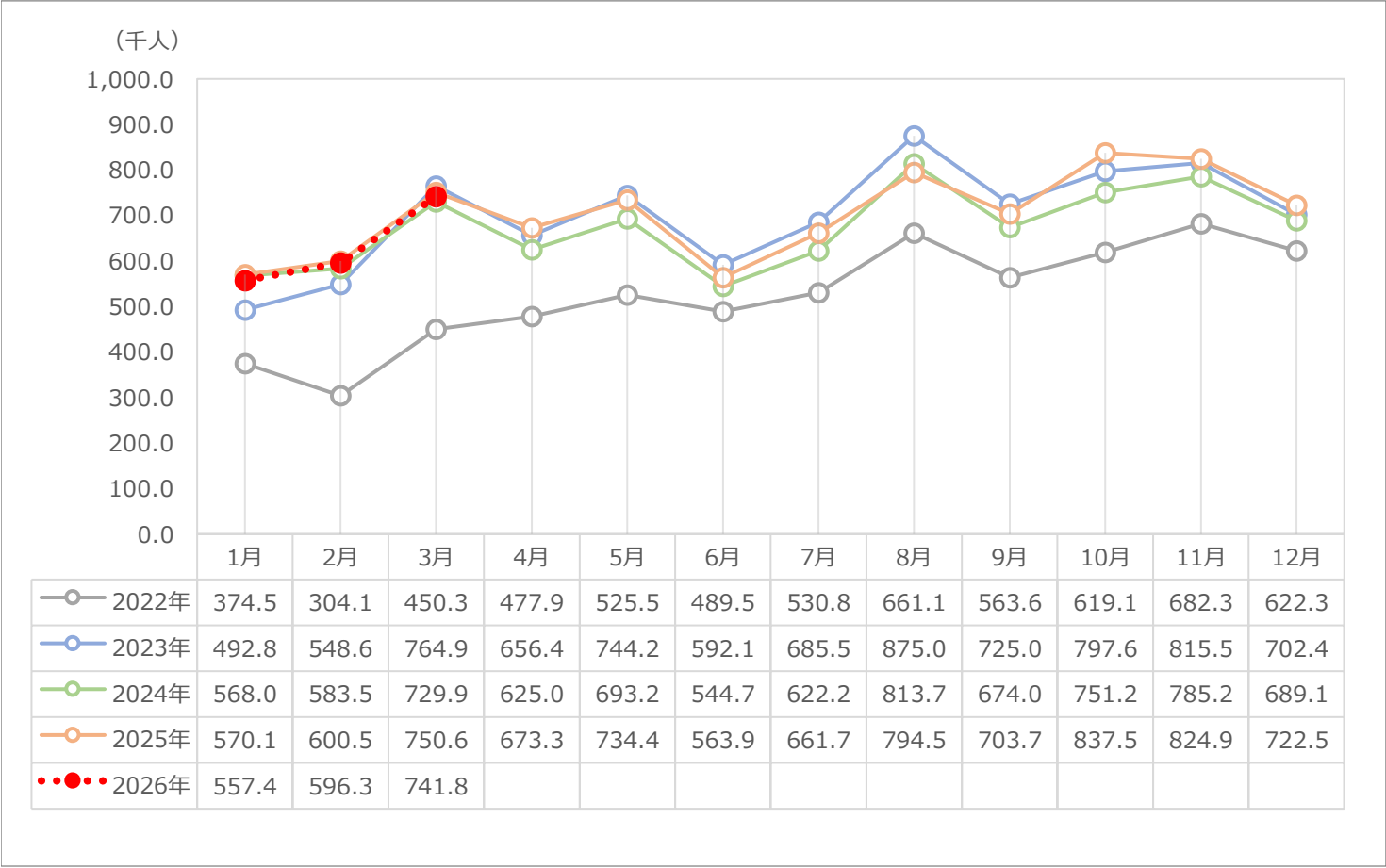
2. 延べ宿泊者数

総数：	1,895,510	人	（前年比：▲1.3 %）
1月：	557,420	人	（前年比：▲2.2 %）
2月：	596,270	人	（前年比：▲0.7 %）
3月：	741,820	人	（前年比：▲1.2 %）

※前年比・・・2025年1Qとの比較

3. 推移

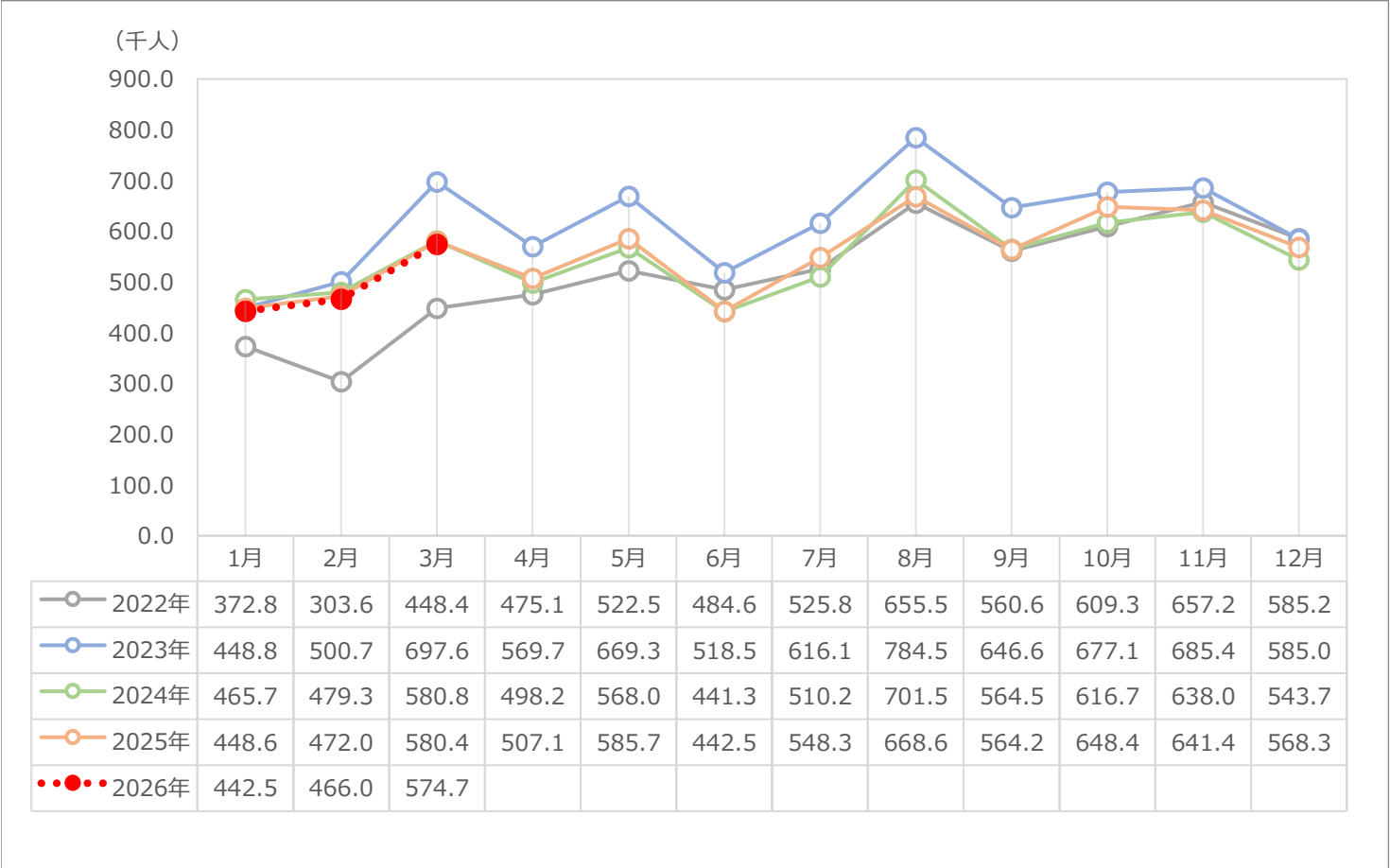
① 延べ宿泊者数（全体）



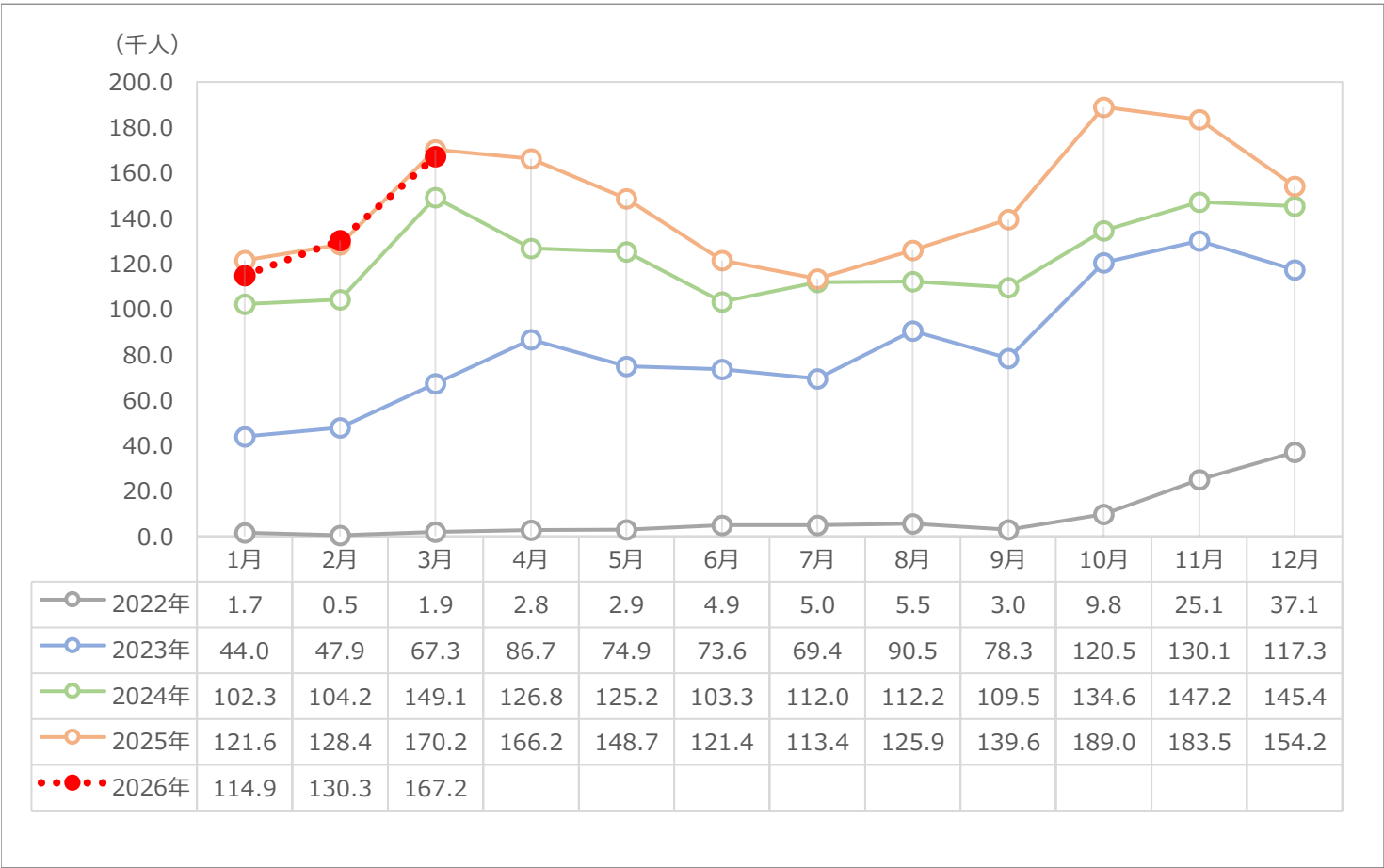
※2022～2025年は確定値、2026年は第2次速報値に基づいて集計。2026年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2026年1Q（1～3月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

② 日本人延べ宿泊者数

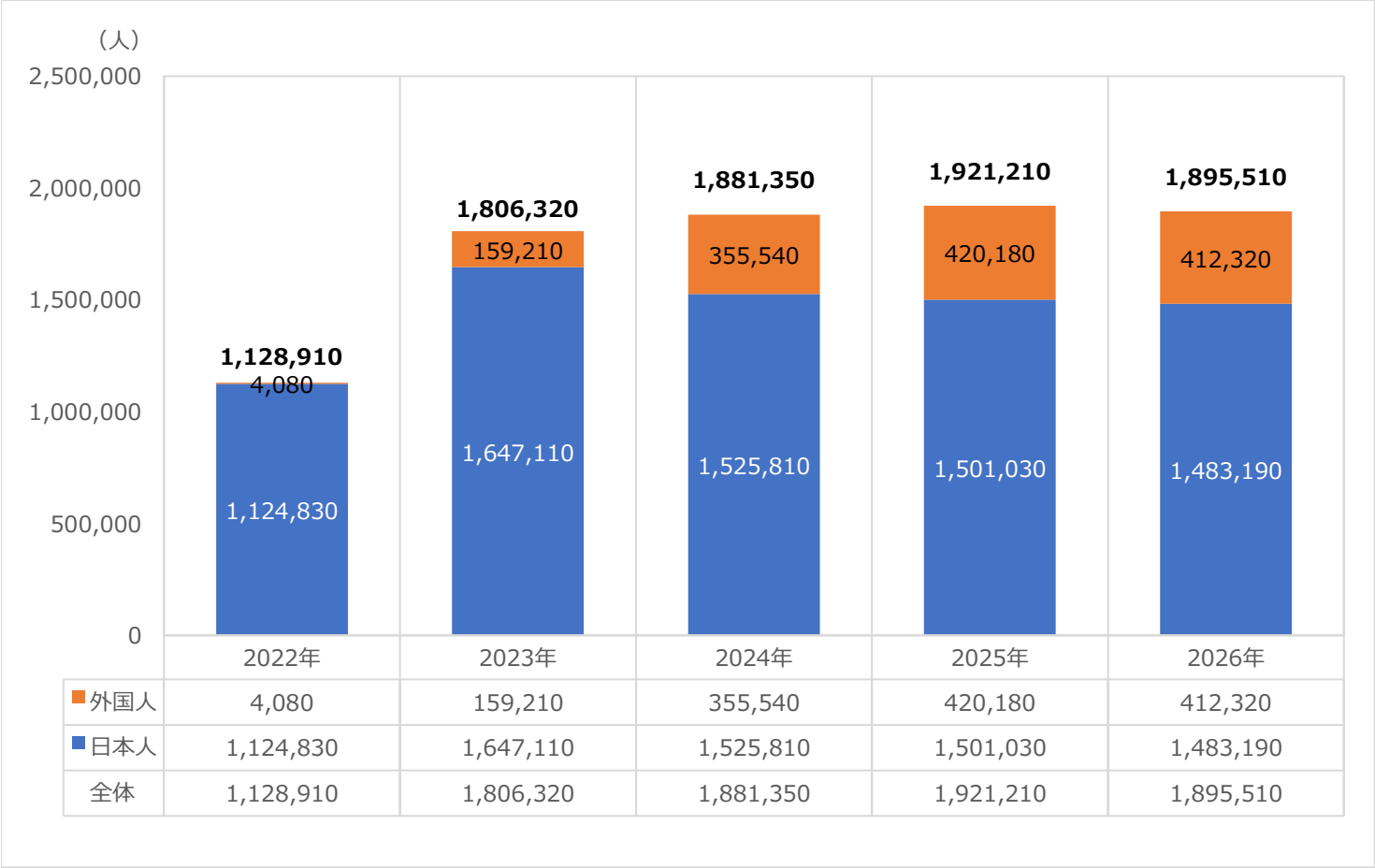


③ 外国人延べ宿泊者数

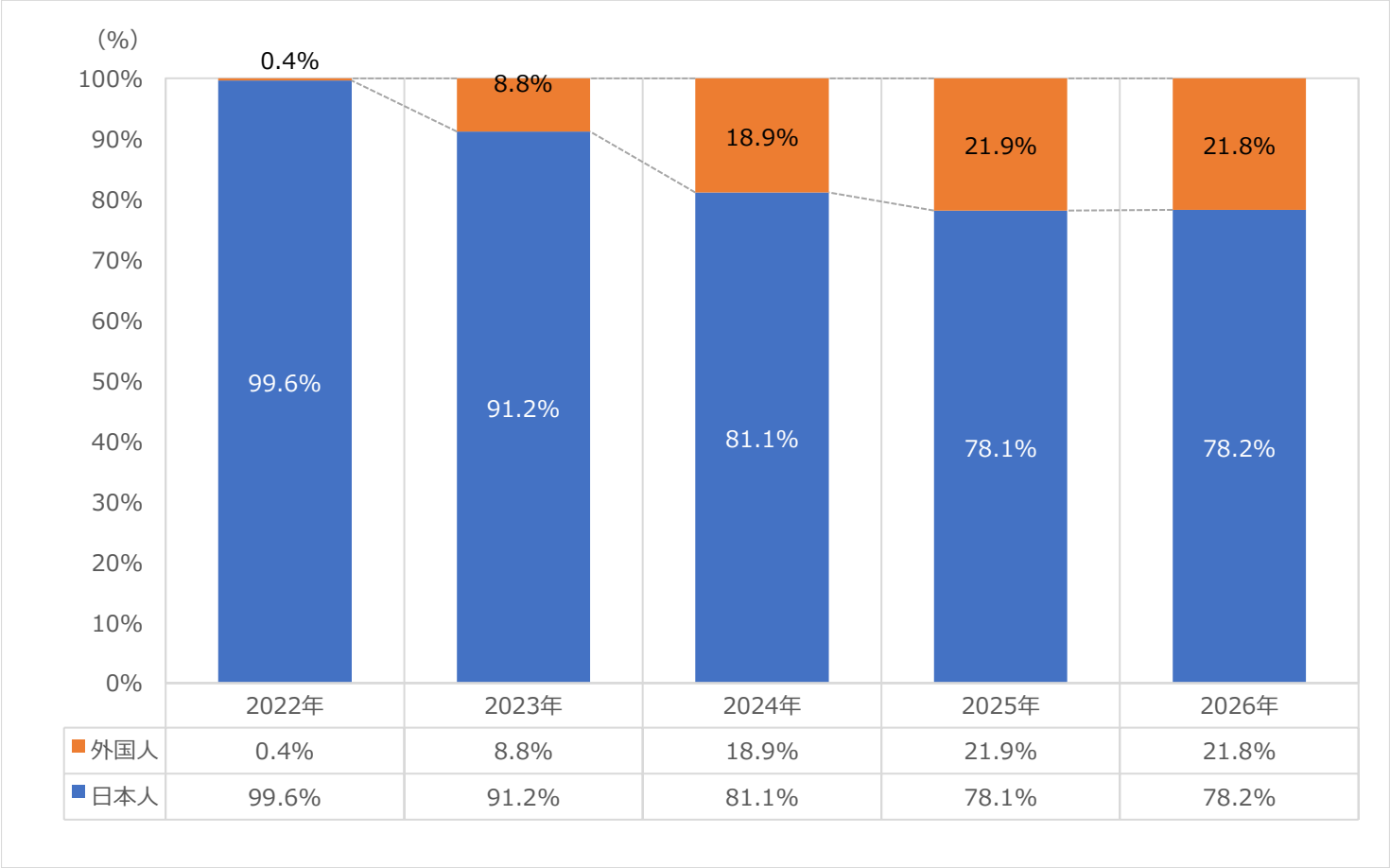


※2022～2025年は確定値、2026年は第2次速報値に基づいて集計。2026年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

4. 日本人・外国人別延べ宿泊者数



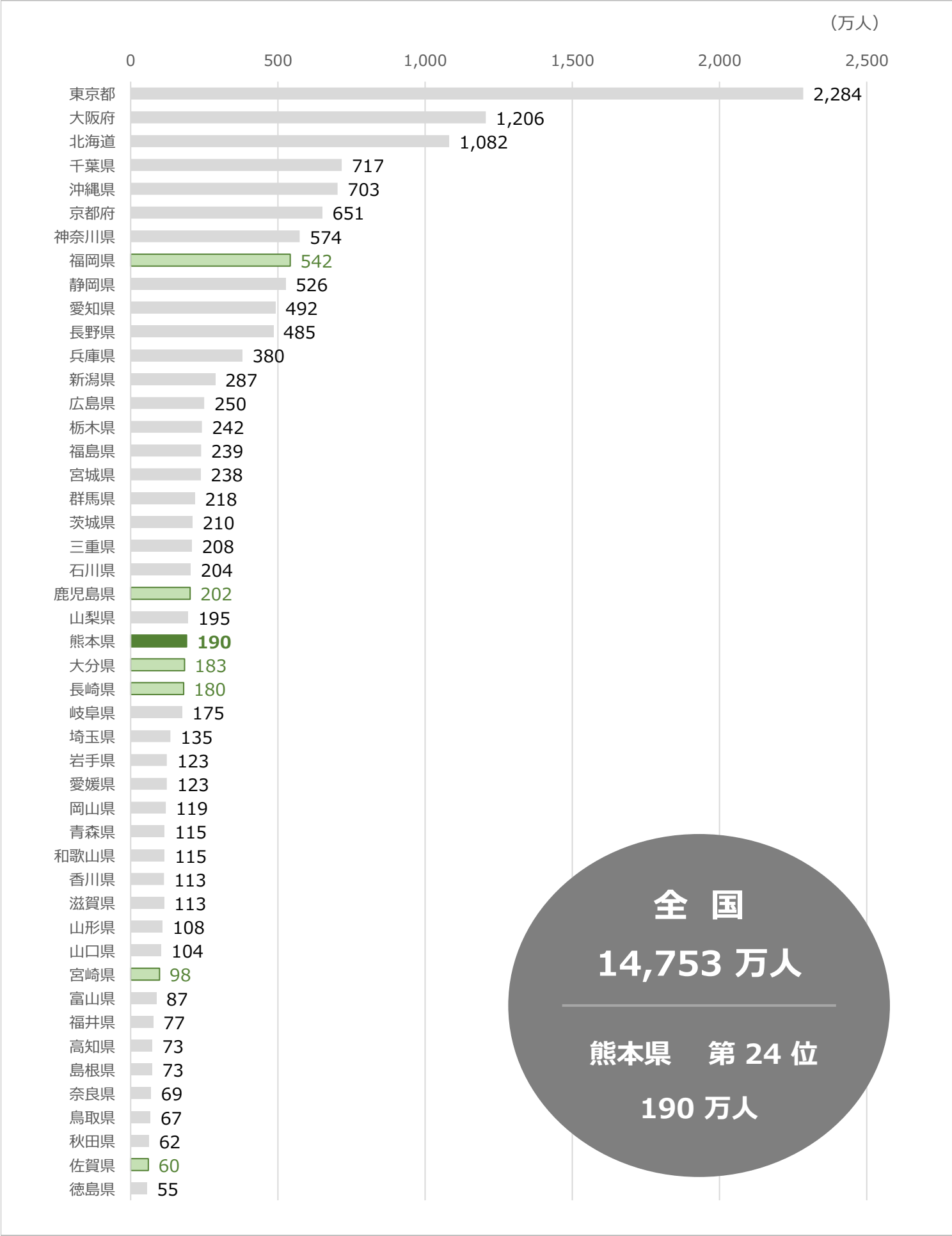
5. 日本人・外国人別割合



※2022～2025年は確定値、2026年は第2次速報値に基づいて集計。2026年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

6. 都道府県別延べ宿泊者数

※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用

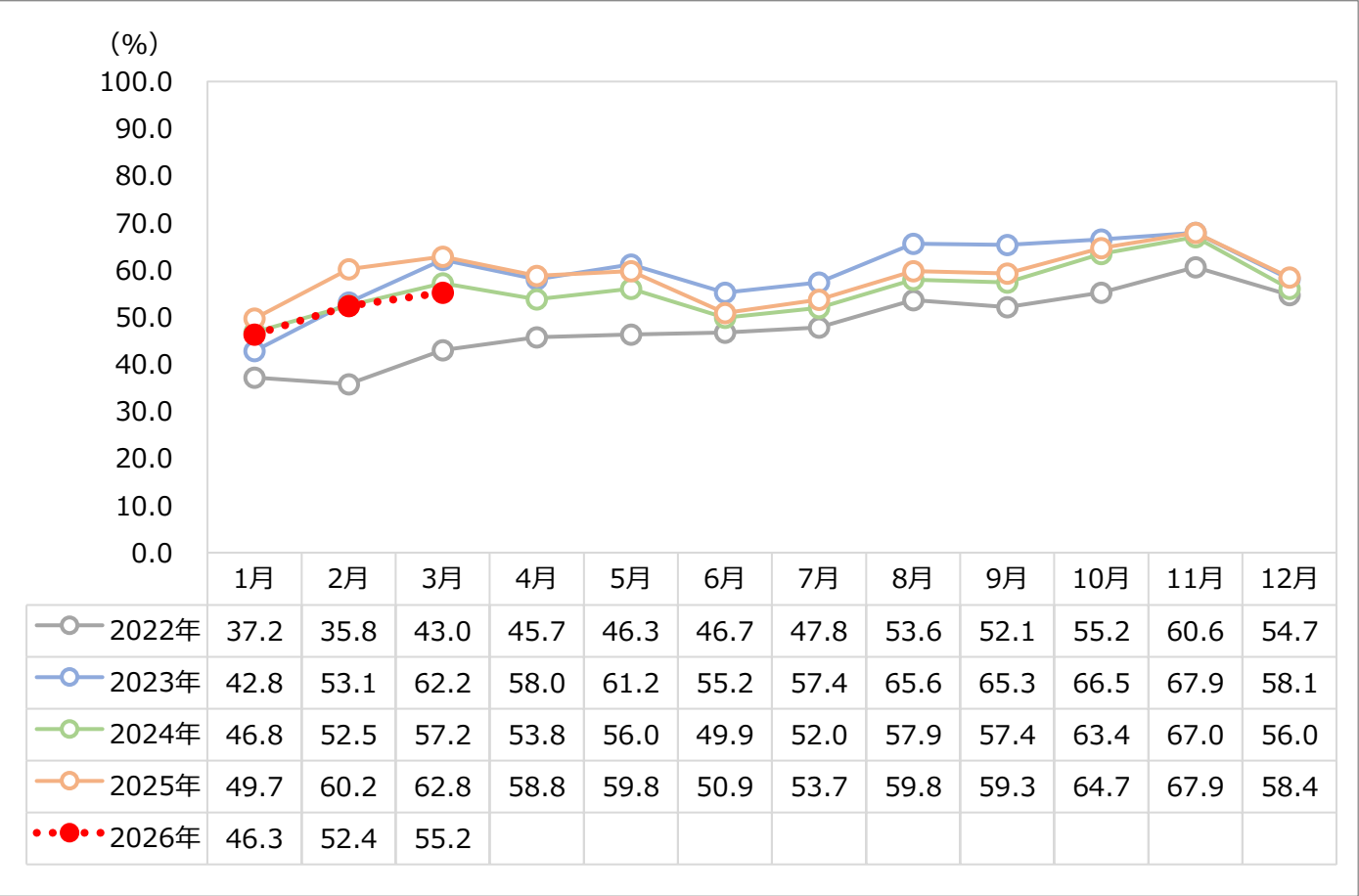


※2026年は第2次速報値に基づいて集計。2026年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2026年1Q（1～3月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

7. 客室稼働率

① 推移



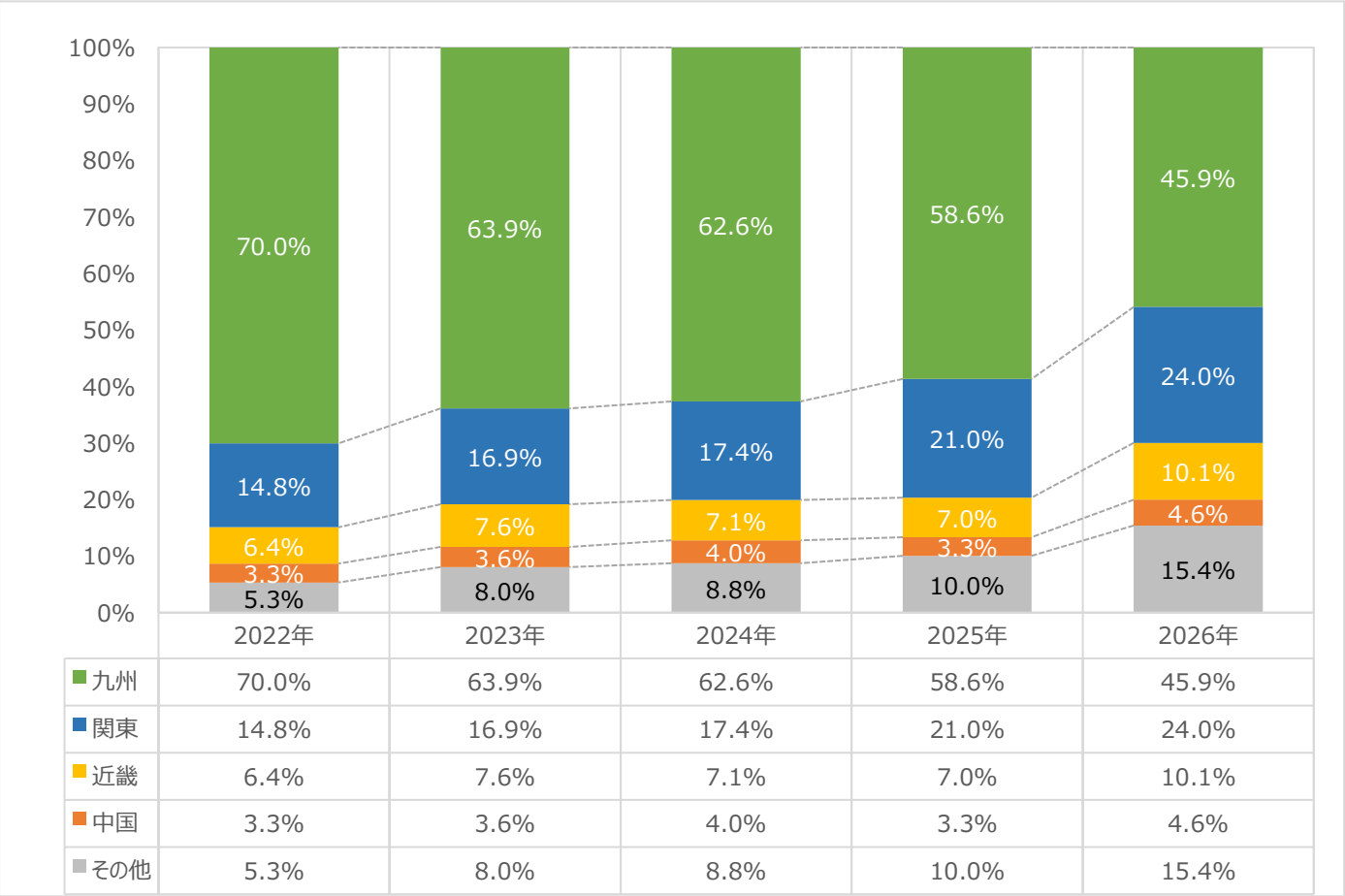
① 施設別稼働率

施設	2025年			2026年		
	1月	2月	3月	1月	2月	3月
全体	49.7%	60.2%	62.8%	46.3%	52.4%	55.2%
旅館	35.2%	44.0%	47.1%	36.3%	42.7%	38.6%
リゾートホテル	32.5%	45.7%	58.9%	32.2%	44.0%	51.6%
ビジネスホテル	65.9%	78.7%	78.2%	62.1%	71.2%	71.2%
シティホテル	69.1%	80.6%	80.3%	62.8%	70.6%	79.5%
簡易宿所	16.3%	20.0%	25.0%	14.9%	31.3%	28.7%
会社・団体の宿泊所	11.0%	53.9%	20.0%	47.0%	68.2%	65.8%

※2022～2025年は確定値、2026年は第2次速報値に基づいて集計。2026年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

8. 国内発地別延べ宿泊客者数（客室数200室以上の施設）

① 地域ブロック別割合

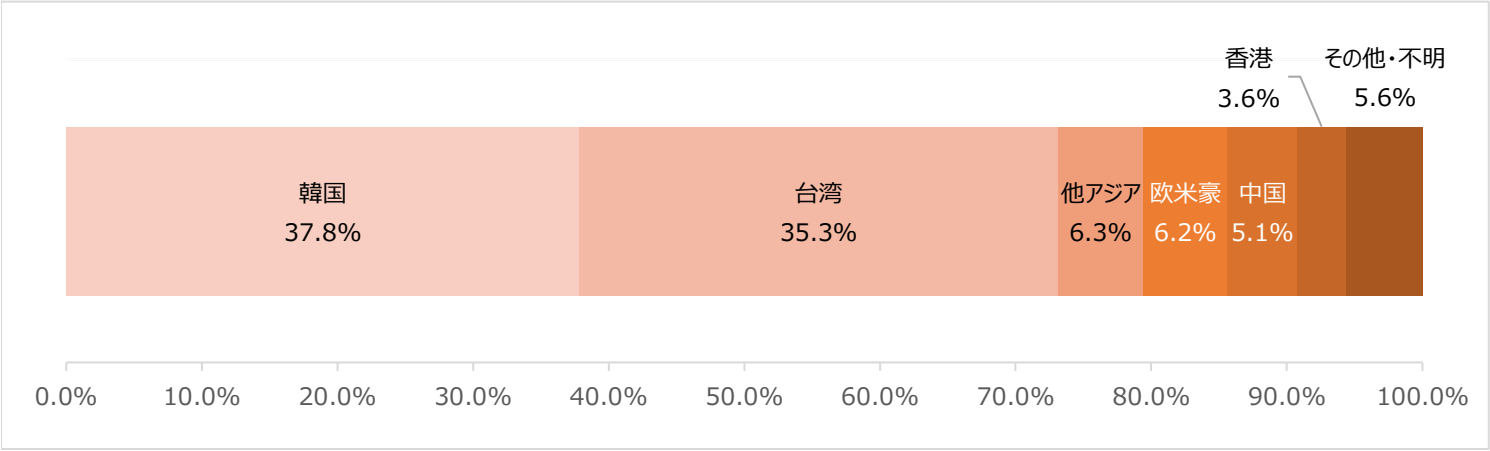


② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2025年		2026年	
1	福岡県	18,891人	福岡県	24,720人
2	熊本県	17,087人	東京都	22,719人
3	東京都	10,160人	熊本県	22,182人
4	鹿児島県	3,748人	大阪府	8,755人
5	神奈川県	3,060人	神奈川県	5,791人
6	大阪府	2,602人	鹿児島県	5,700人
7	宮崎県	2,531人	北海道	5,447人
8	大分県	2,397人	長崎県	5,221人
9	長崎県	2,267人	宮崎県	4,280人
10	沖縄県	2,149人	大分県	3,434人

※2025年以前は従業員数100名以上の施設を集計対象とする
※宿泊旅行統計調査の第2次速報値による値を掲載（確定値による遡及改定はしない）

9. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数構成比（客室数20室以上の施設）



2026年1Qの国籍（出身地）割合は、韓国 が「 37.8% 」で最も多く、次いで 台湾 が「 35.3% 」、他アジア が「 6.3% 」と続きました。

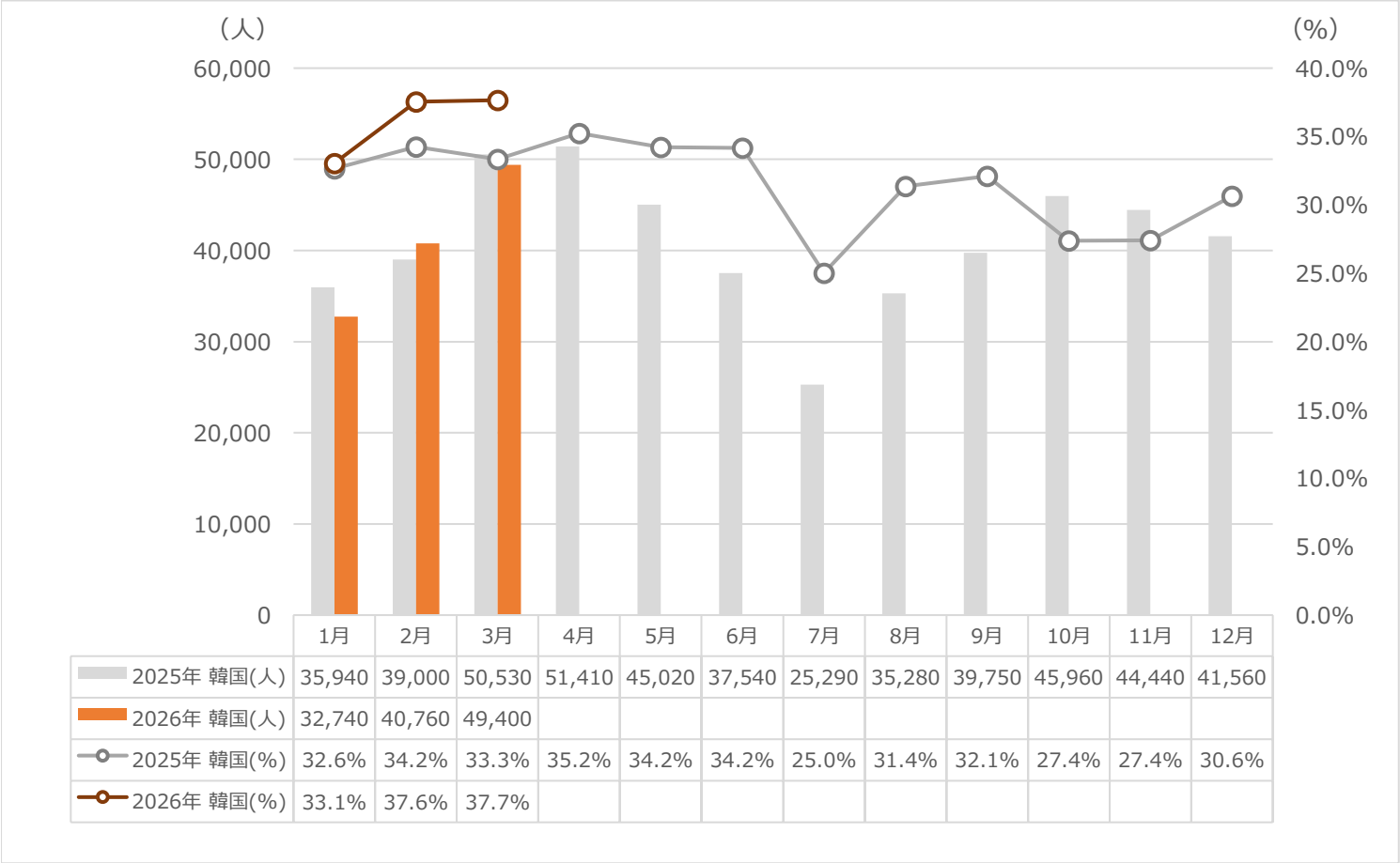
欧米豪 ： アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン、北欧地域
他アジア ： シンガポール、タイ、マレーシア、インド、インドネシア、ベトナム、フィリピン、中東地域
その他 ： 韓国、中国、香港、台湾、欧米豪、他アジア に該当しない国籍（出身地）

10. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合（客室数20室以上の施設）

※2025年以前は従業員数10名以上の施設を集計対象とする

① 韓国

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合

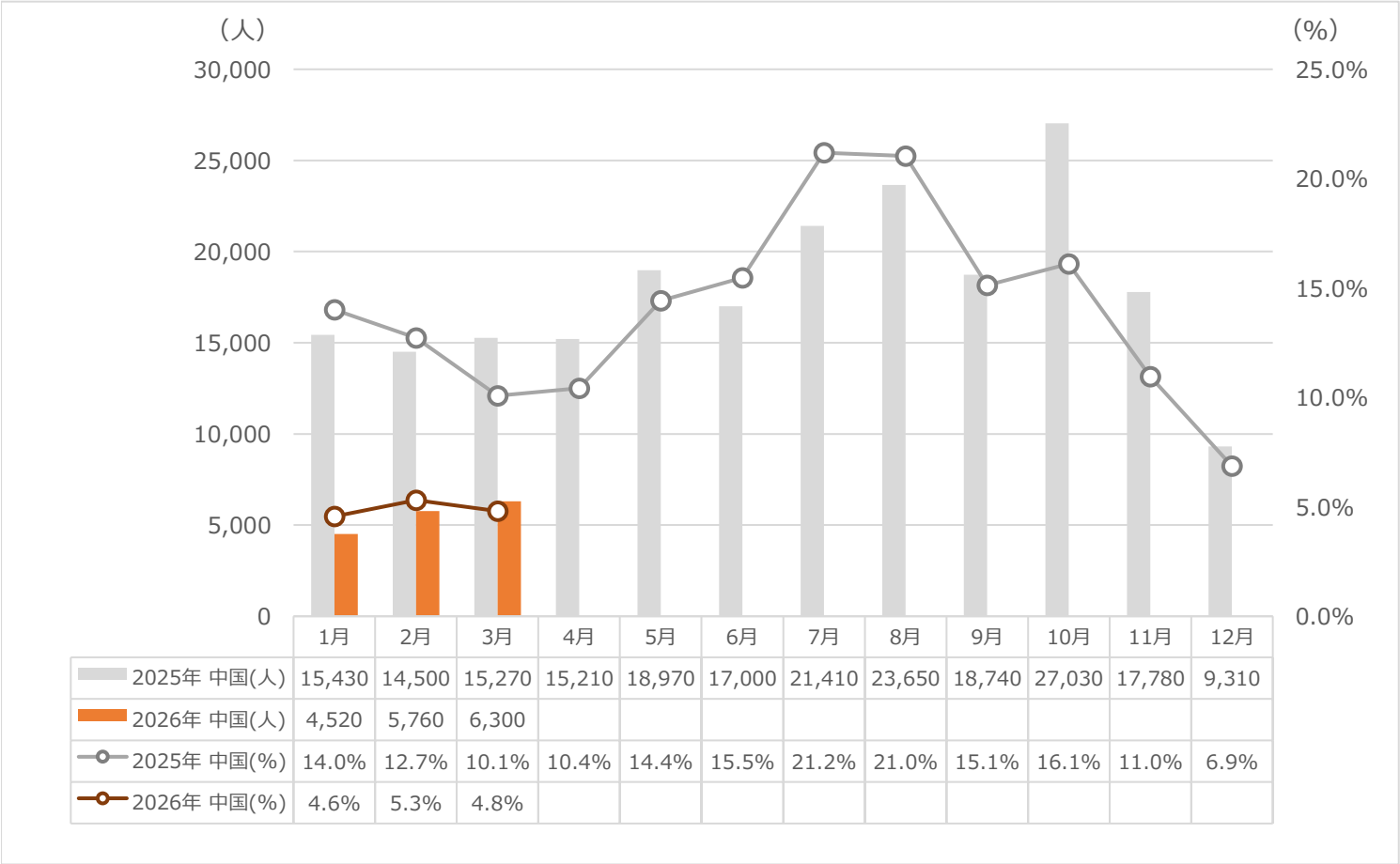


※2025年は確定値、2026年は第2次速報値に基づいて集計。2026年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2026年1Q（1～3月） 熊本県宿泊旅行統計調査（ 00.熊本県全体 ）（速報値）

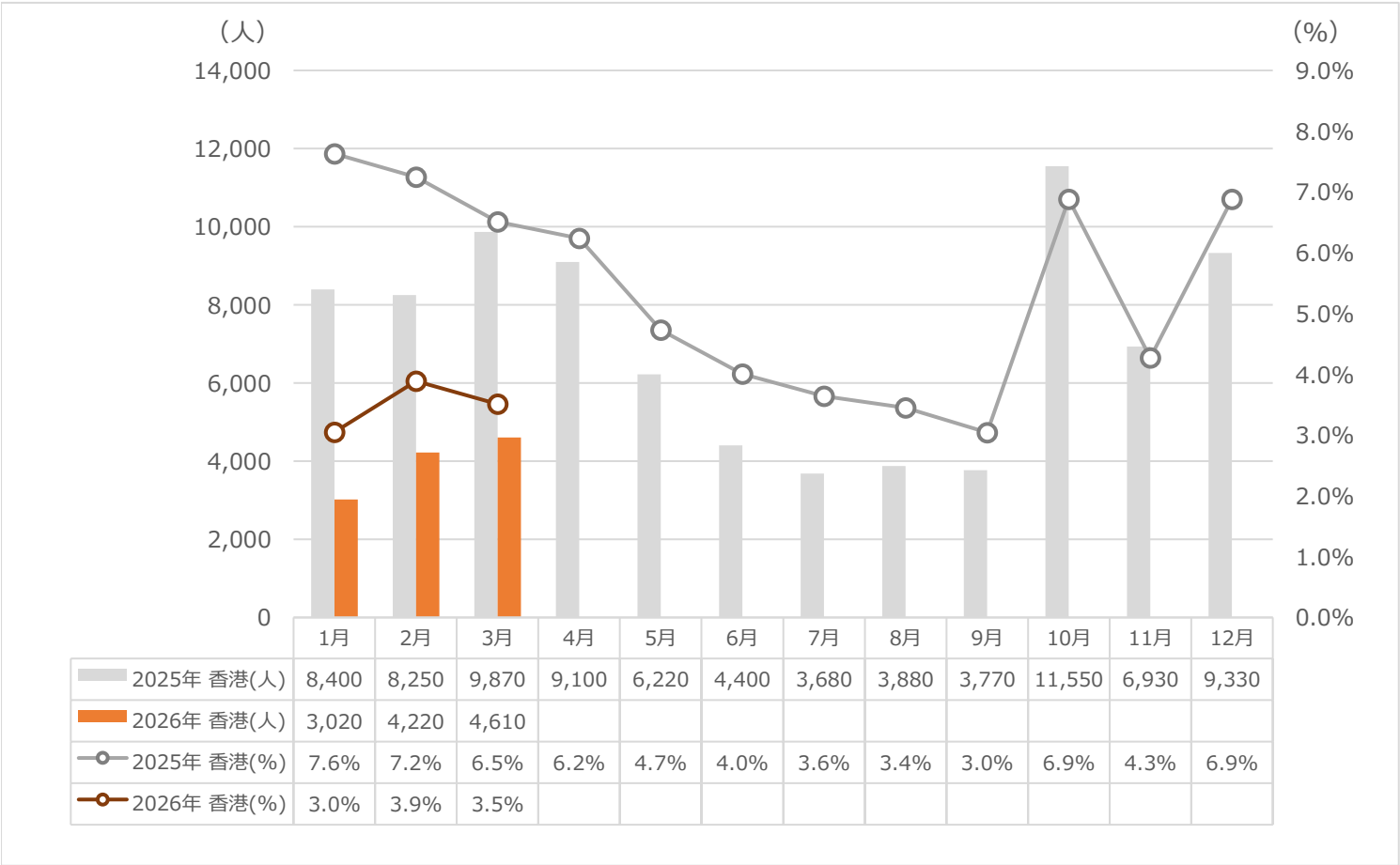
② 中国

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



③ 香港

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合

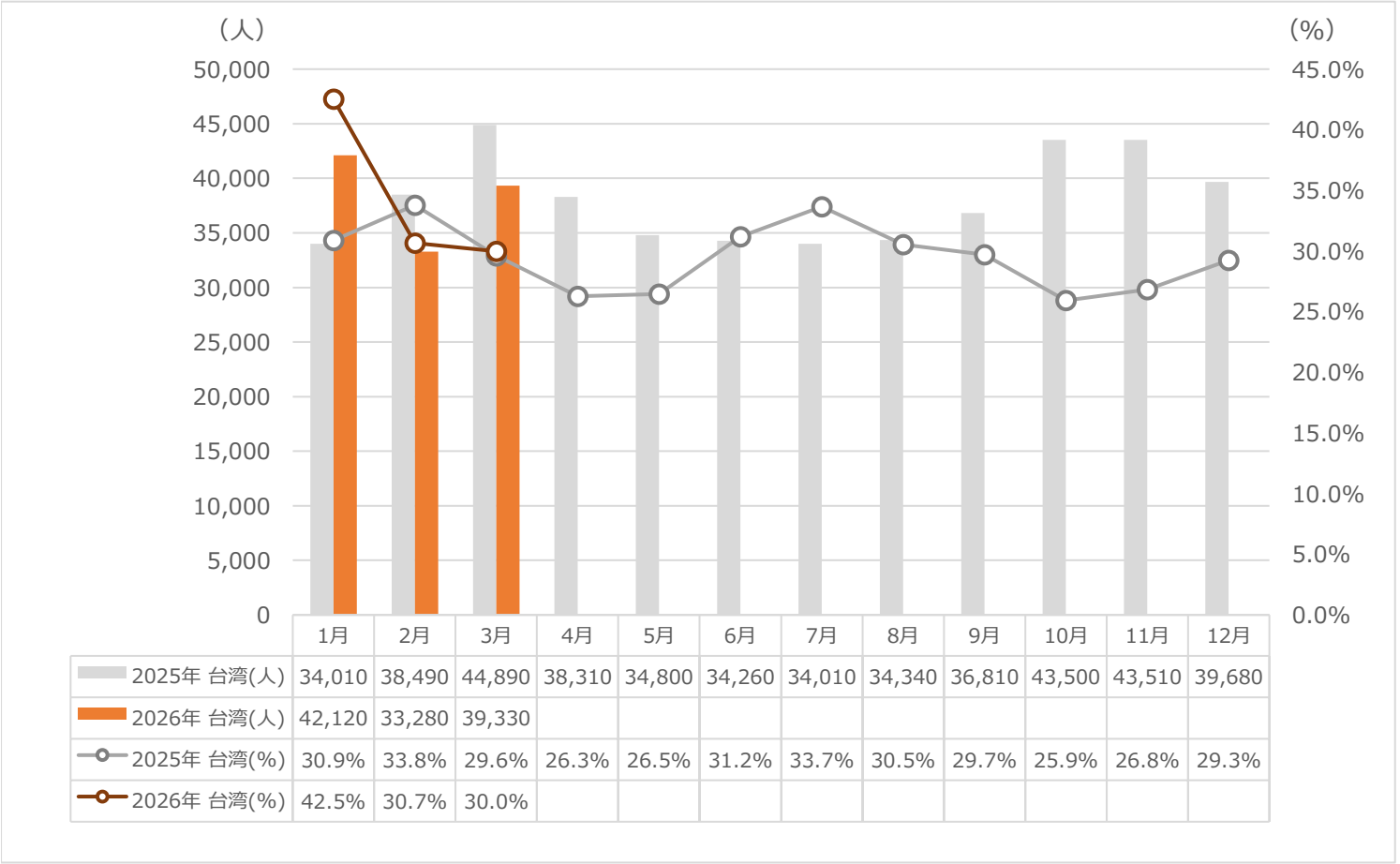


※2025年は確定値、2026年は第2次速報値に基づいて集計。2026年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2026年1Q（1～3月） 熊本県宿泊旅行統計調査（ 00.熊本県全体 ）（速報値）

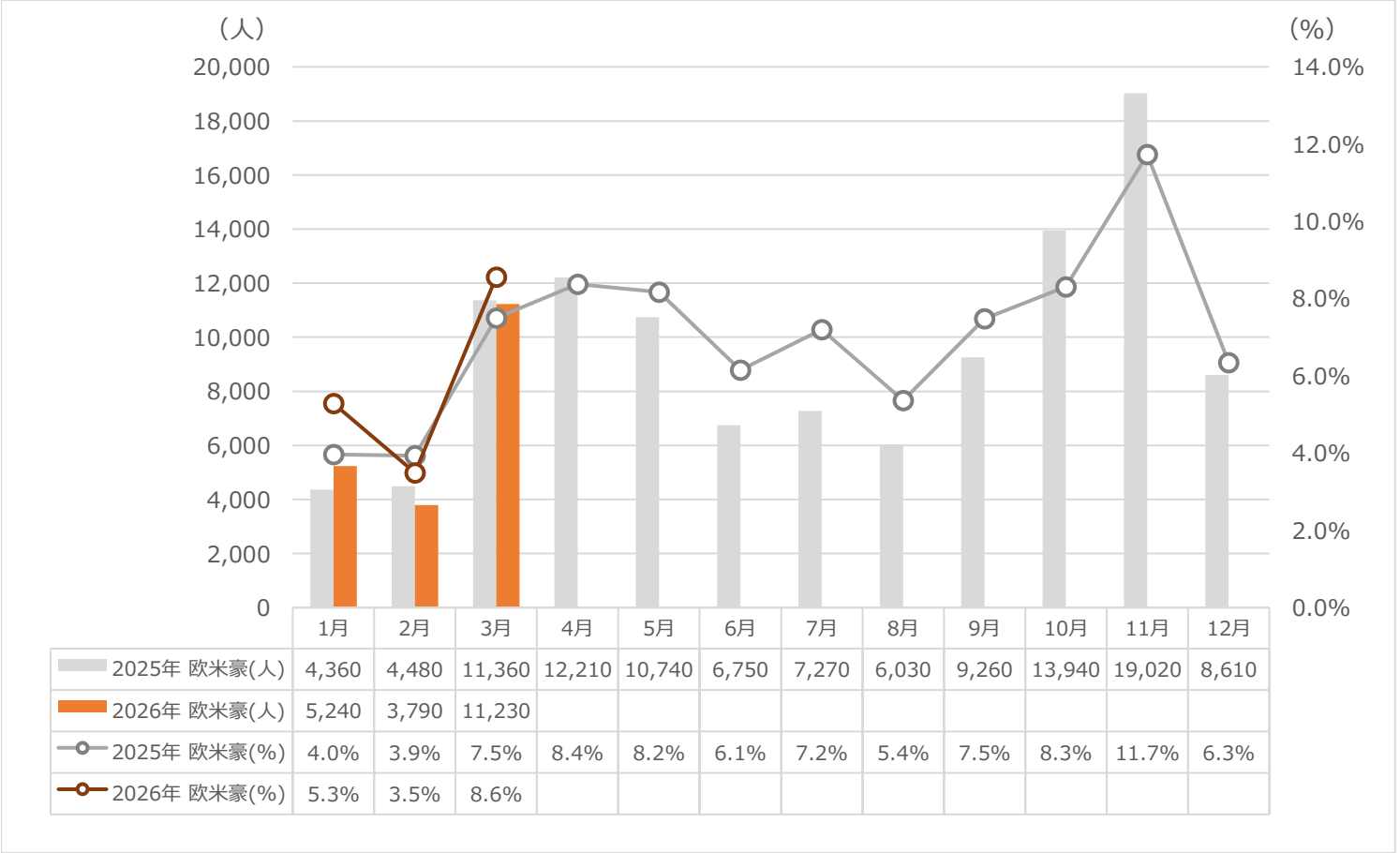
④ 台湾

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



⑤ 欧米豪 … アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン、北欧地域

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合

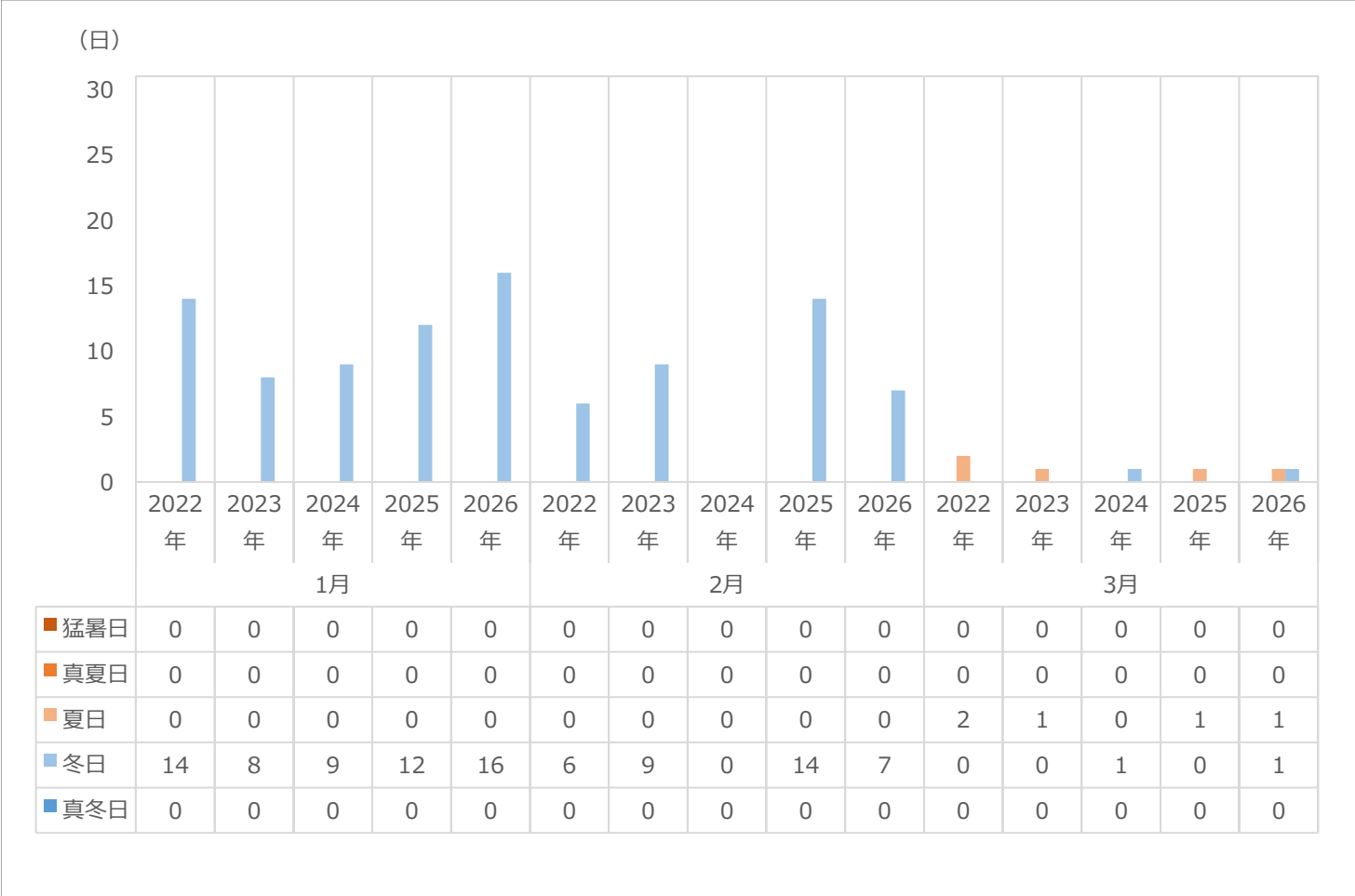


※2022～2025年は確定値、2026年は第2次速報値に基づいて集計。2026年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

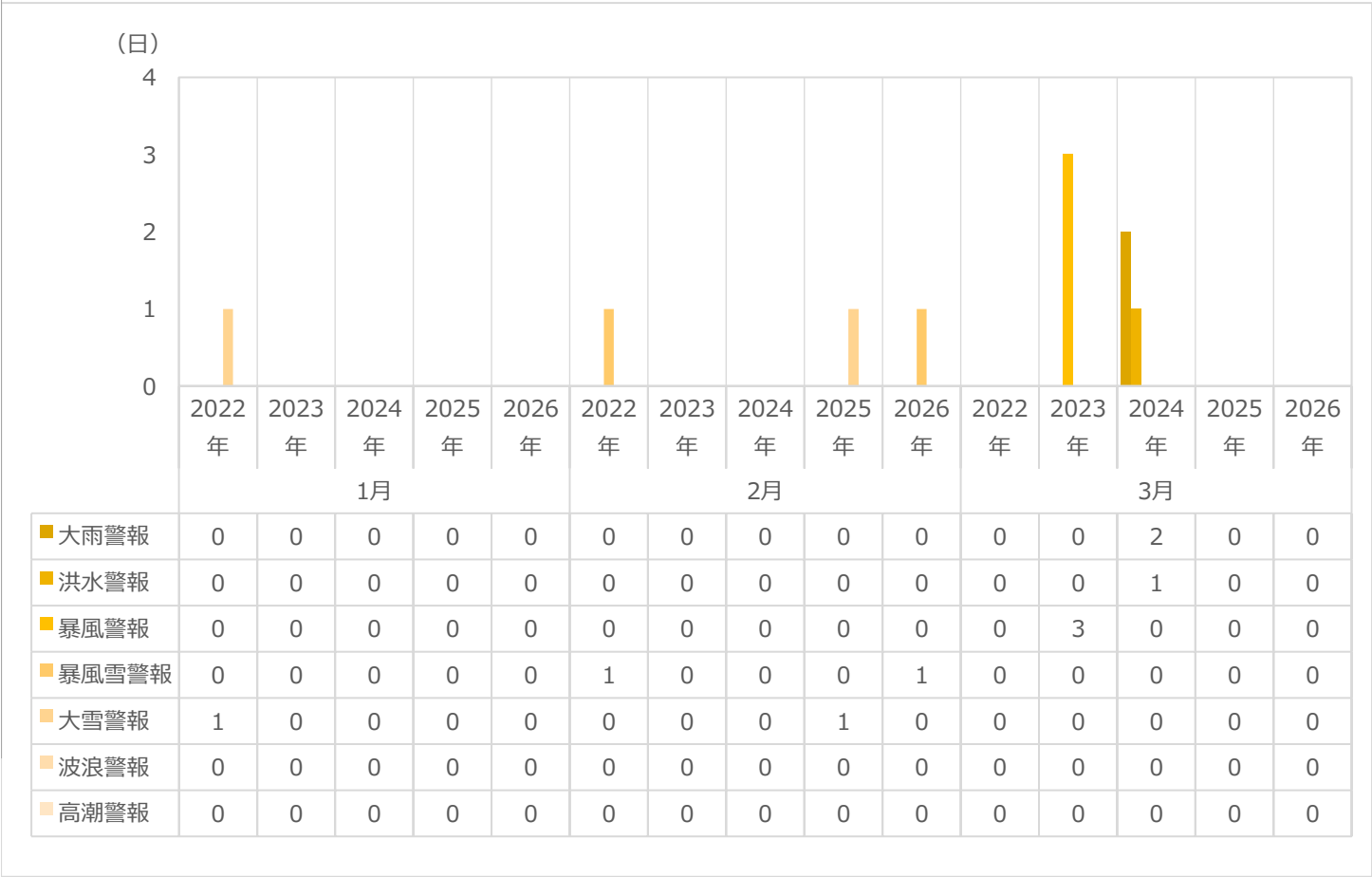
※北欧地域は2026年1月以降の集計に含まれる。

11. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



12. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など 〔特記事項がない場合は空欄〕

▽ 地域のトピックス ▽

- ・荒尾市の四神神社で春季大祭開催。（2/13）
- ・玉名市で県北唯一のフルマラソン大会「玉名いだてんマラソン」開催。（2/22）
- ・観光庁「第3回サステナブルな旅アワード」で
人吉市の鮎里ホテル「The Best of Kuma Valley 人吉球磨を巡る特別な旅」が地域未来賞を受賞。（1/22）
- ・フジドリームエアラインズ（FDA）、名古屋/中部～熊本線を開設。（3/29～）

▽ 観光シーズンの動向 ▽

今期（2026年1月～3月）の熊本県の延べ宿泊者数は189.6万人と前年同期を1.3%下回った。月別で見ても、1・2・3月のいずれも前年を下回っている。宿泊稼働指数の日別の動きをみると、2・3月の3連休（2月21～23日、3月20～22日）は初日を中心に県内全域で高い稼働状況となったものの、全体を通してみると、平日、休日ともに前年をやや下回って推移した。特に1月前半は、宿泊稼働指数が50を下回る日が続いた。また、建国記念の日（2月11日 水曜日）は昨年同様3連休とならず、連休による宿泊需要の押し上げ効果は限定的であった。

地域別にみると、菊池地域、八代地域、人吉・球磨地域、水俣・芦北地域で前年同期比プラスとなった。特に人吉・球磨地域は前年同期比+44.4%、水俣・芦北地域は同+31.1%と前年を大幅に上回っている。

日本人・外国人別にみると、日本人延べ宿泊者数は同▲1.2%、外国人延べ宿泊者数は同▲1.9%と、ともに前年を下回った。外国人延べ宿泊者数を地域別に見ると、最も延べ宿泊者数の多い熊本市において同▲22.1%と大幅に減少しており、県全体の外国人延べ宿泊者数を押し下げる要因となっている。国籍（出身地）別にみると、中国、香港だけでなく、韓国、台湾の延べ宿泊者数も前年同期を下回っており、2023年以降増加基調が続いていた外国人延べ宿泊者数には、一服の兆しがある。

熊本県宿泊旅行統計調査について
1. 本調査は以下を調査結果として表章しています。 (1) 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合 観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値 ※2022～2024年および2025年の熊本県全体は確定値、2025年の11地域別および2026年は第2次速報値を採用。 速報値は観光庁の確定値公表後に遡及改訂を実施する。 (2) 気象情報 気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値 (3) 地域のトピックス メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの (4) 観光シーズンの動向 「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの 2. 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。 3. 調査結果の整合については以下に注意が必要です。 (1) 本調査内の数値 端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。 国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。 宿泊旅行統計調査では、令和8年1月分調査以降、層化基準が「従業者数」から「客室数」へと変更となりました。 このため、2025年以前と2026年以降では、見直しの影響が含まれている可能性がある点に留意が必要です。 (2) 他の同類・類似調査 調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。 ⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など * 本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。